上田地域もの・こと交換制度
蚕都くらぶ

ま～ゆ

蚕都くらぶ・ま～ゆ会報 **No.137** 2022年10月20日発行

啓峰　　俊篤

わたしたちの願い

蚕都くらぶ・ま～ゆは、地域で暮らす人びとがお互いに助け合って楽しく暮らすことを目指しています。

私たちは、この地域の豊かな自然や人びとの知恵・技術・経験・人柄を地域の宝と考えます。

その宝を活用することで、より豊かな地域と温もりのある人間関係を目指し、活動しています。

蚕都くらぶ・ま～ゆは、地域通貨「ま～ゆ」を使って人と地域をつないでいます。

- ❖ 人と人との新しい関係が生まれます。
- ❖ 自分の能力を再発見できます。
- ❖ 人が活き活きすることで、地域が元気になります。

8 月のま～ゆ市

10日、蒸し暑い熱帯夜の中スタート。

今月のハッピーバースデーは 3 人でした！

◆かっとまん＝人の髪型や服装の変化に若い頃は全然気づけないタイプだった。いつからか気づけるようになり、相手にすんなり言えるようにもなった。いくつになっても成長するんだなぁ。

◆辛口さん＝今日はビールの一杯も出るかなぁと思ってきたよ(笑)コロナ前はビール祭りをしていたのに…

◆けんちゃん＝ビタミンを多くとった方が良いと教えてもらったので、参考にして若々しくいられるように努めたい。

企画① ヒデさんの数字マジック

A				B				C				D				E			
1	3	5	7	2	3	6	7	4	5	6	7	8	9	10	11	16	17	18	19
9	11	13	15	10	11	14	15	12	13	14	15	12	13	14	15	20	21	22	23
17	19	21	23	18	19	22	23	20	21	22	23	24	25	26	27	24	25	26	27
25	27	29	31	26	27	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31	28	29	30	31

1 から 31 までの数字を思い浮かべてください。

5 枚のカードを元に、はい or いいえの質問に答えていくと、「あたなの思った数字はこれですね！」と、ヒデさんが当てて行く。あれ、なんで分かるの～？！とビックリ

ヒデさんのタネあかしを聞いても、ホントに？なんで？あらホントだ！と、数字の不思議な世界を楽しみました！

※ヒデさんがスペインを旅した時に、小学生がやっていたのを一緒に体験し、教えてもらったとか

タネあかしは簡単。はいと答えたカードの左上の数字を足すだけ。
㊀(11 の場合)A.B,D,の 1＋2＋8＝11

企画②子供の頃の夏の思い出をテーマに語り合いました

◇家の周辺ではビールのもととなるホップを作っていたので、夏は収穫作業の手伝いをした思い出が強く残っている。今はリンゴやぶどう畑になっている。◇塩田の流水プールに連れて行ってもらい、休憩時間に食べたカップラーメンが美味しかった。今のカップラーメンはあの時の味と違う気がする。◇小学校の自由研究で謄写版を作った。時代を追って進化する印刷器を買っては楽しんだり悩まされたり、以来 印刷機とはずっと縁がある。◇夏になると青年団の人達が協力してくれて、膜をはりスクリーンにして映画会を開いてくれた。お寺の庭にゴザを敷いて座り、大人も子供も一緒に映画をみて楽しんだ。◇魚釣りをしてもいつも収穫ゼロ。だけどアメリカザリガニだけはすごくよく釣れた。食べたけど、まずかった。◇高校一年の夏、誕生日で女の子 3 人から別々のプレゼントと、合同で置き時計ももらった！今、思うと あの時がピークだったなぁ。◇ラジオ体操から帰ったら、おばあさんが七輪でトウモロコシを焼いていた。もらって食べたらすごく美味しかった。あの味が忘れられない。

…みなさんの懐かしい思い出話を聞いていると清々しい風が吹くようで、なんとな～く涼しい気持ちになりました。その他にも、近況や最近感じたことなどもたくさん聞けましたよ。

インフォメーション

☆レクリエーションチーム『車山ハイキング』(ミーすけさん)。 ☆『平和のための信州戦争展 in 上田』上田創造館☆難民問題における人権の講演会。◇安全保障について渡辺彰悟弁護士の講演会。(ケセラさん)☆「信州上田学」の「上田未来会議◇未来学ゼミ」(全 7 回)。第 1 回は東大の牧野篤先生の基調講演。サントミューゼ(竜野さん代理ケセラさん)。☆みんなの家 開放デイ 8/11☆廿日市は GOKU さんの『朗読 LIVE』(あやちゃん) 。※当日、13 時からみんなの家周辺の草刈り＆掃除。☆9 月の廿日市は 18(日)AMANA 平和コンサート。久しぶりの開催です、ぜひ (ヒデさん)。☆「上田リバース会議」(全 7 回)。第 1 回は(オンライン開催)(のだまさん代理で都々平さん)。 あやちゃん

甲田はきもの店 No.39 甲田
●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使い下さい
●靴、草履、下駄などの修理は20%まで使えます
上田市中央4-6-24
TEL22-1272

9月のま～ゆ市

9月10日、土曜日のお昼過ぎ、都々平さんの司会でま～ゆ市がスタートしました。

【モノコト交換】

◆ニラ、モロッコいんげん、ゴーヤ、カットかぼちゃ、ナスなど…（ぶんちゃん）◆かぼちゃ、ナス、トマトなど…（ごんべえさん）

【インフォメーション】

☆上田市役所新庁舎見学会の参加者募集。ZEB を先取りした建物で、温室効果ガスを排出しない省エネな建物となっています。（ヒデさん）☆①平和のための信州戦争 in 上田上田創造館（ケセラさん）☆9条を守る城下地区の会でも AMANA 平和コンサートを開催。城南公民館☆会報の原稿を募集しています。テーマは「小さな幸せ」です。（都々平さん）☆ま～ゆ田んぼの稲刈りは 10 月 8 日です。先日亡くなられた丹野喜三郎さんを偲んでごんべえ米を「喜三郎米」と改名して、これからも末永く受け継いでいきたいと思います。（ごんべえさん）

【ハッピーバースデイ】

ヒデさんとまるちゃんが前へ出て挨拶。お二人は同じ9月23日生まれでした。

◆ヒデさん＝今日は中秋の名月なので、宇宙の話をひとくさり。地球が太陽の周りを回っているというだけでなく、太陽も天の川銀河を約2億年かけて回っている。そういった銀河は宇宙に 2 兆もあることが最近分かってきた。そんな広大な宇宙を考えると、私達がいかに小さな世界で暮らしているかを感じて、悩みがあってもちっぽけに思える。

◆まるちゃん＝74 歳になりました。山歩きの申し込みの際、年齢を 74 歳と伝えるとビックリされる。ま～ゆの山歩きや街歩きに、これからも積極的に参加していきたい。

【バクちゃん、マジックを披露！】

6月のま～ゆ市で都々平さんのマジックを見てやってみたい！と都々平さんに弟子入して習得したバクちゃんが、今回披露。ドギマギしながらも、すんなりとこなして成功！おお～！と歓声。師匠も満足そうでした。

【平和をテーマに語り合いました】

◆戦争の映画や、戦時中の写真や資料をみると、戦争は絶対にしてはいけない！絶対にイヤだ！と思う。◆私達は平和を享受して当たり前に暮らしている。でもそれは決して当たり前ではなくて、多くの犠牲の上にあるもの。それを伝えていく必要がある。◆ウクライナ・ロシア情勢を見ていると、悲しいニュースばかり。報道では何千人もの死傷者が出て、何万人の人が苦しい生活を余儀なくされています、と伝えるだけ。その一人一人が傷つきどんな辛い思いをいるか？は無視されて伝えられない。◆仁古田の飛行機製造地下工場跡を訪れてきた。実際に戦争の痕跡が残っている場所に行って見て、当時の人達の思いや暮らし向きの大変さを実感。心を傾けることが必要だと思った。◆自分にとっての平和は、お風呂に入って布団で眠れる、食べたいときに食事ができる事。ウクライナの人々はどうだろう。食べる物があるか？シャワーも浴びられないだろう？毎日怯えながら暮らしているにちがいない。この戦争をとめられるのはお互いの話し合いしかない。そうなるよう心を動かしていかなければ。演劇や歌を聴いて心が動かされて反戦へとつながっていく。そうならないと戦争はとめられない。◆戦争は国家が始めるもの。それを止められるのは一人一人の国民しかない。悲惨な状況を見て知るのは辛いし、胸が苦しくなる。でもそれを受け止めて、心にとどめておくことが必要。それに対して意思表示する、アクションしていくこと。平和への思いを持ち続けるける事が大事だと思う。◆戦争に行っていた父親はあまり話したがらなかった。戦場で食料がなくて苦しかったし、悪い事もしたかもしれないから、思い出したくなかっただろう。今、戦争は遠い場所で行われていると思っているが、食料品や燃料が高くなって私達の生活の中にとても影響しているのを感じる。◆重いテーマなので結論は出ないが、少なくとも日本は平和から離れないようにアンテナを張って、それぞれにできる事をしていくことが大事だと思う。

あやちゃん

はつかいち
廿日市だより

お盆過ぎたら風はもう秋のにおいですね。
8月20日は朝から雨降り。そんな中、たくさんの方にお集まりいただきました。

今回は縁側をステージにしての朗読 LIVE。雨で濡れて緑が色濃く見える背景と、分厚過ぎない雲が丁度いい光量を演出。いつもと違うみんなの家の雰囲気に、なんとなくドキドキしながらの幕開けです♪

【出店】

◆波照間島の黒糖、蜂蜜、みつろうクリーム（ますみちゃん）◆フレッシュバジル、ハーブティー（あやちゃん）◆塩田産のスイカ（リンちゃん）◆プチトマト、トマト、ゴーヤ、きゅうり、みょうが、かぼちゃ（ぶんちゃん）

※リンちゃん、ぶんちゃんは、販売したお金をみんなの家に寄付してくださいました。ありがとうございました。

【インフォメーション】（ま～ゆ市とのダブりは割愛）

★パン用小麦ゆめひかりの製粉をしています。後日 ML で注文を受け付けます。一味違うパンができますよ。お楽しみに（ごんべえさん）★会報が完成しました。お持ち帰りください（ 都々平さん）★①『民話と災害』民話の語り＋平成紅葉狩演劇公演と語り方ワークショップ　犀の角にて。「聞く事」「語る事」を通して、本来の民話の世界をお楽しみください。②「身がまま整体　綺凛堂」を OPEN しています。室賀温泉ささらの湯で。（ゆうこりん）★みんなの家のすぐ近くのスペースが、駐車場として使えます。出入り口が急坂なので要注意（リンちゃん）

【はじめましての方、ご紹介】初めて廿日市に参加された方 2 名の自己紹介。

😇 かっぱさん＝千葉からきました。ドキュメンタリー映画「もう一つの明日へ」を見て今年 2 月にま～ゆに入りました。今日は 5 時半起き。上田に来てまず無言館へ行き、豆 cafe enjyu でランチしてきました。みんなの家に来て、映画の中の人達に会えて嬉しく、ミーハーになっております。

😇　白倉あけみさん＝はらまきさんのつながりで告知を拝見、ま～ゆの事はなんにも分からないですが、なんとなく興味があって来てみました。にゃんこ先生にもコラボ食堂でお世話になっています。

🎤朗読 LIVE🎤

GOKU さんの LIVE のスタイルは、まず聴きに来てくださった方の顔ぶれを見て演目を決めるそうです。何を、どんな順番に朗読しようか…と。譜面台やマイクを調整しながら、簡単なプロフィールを紹介して静かにはじまる。

最初は自作の 3 詩、「石の狛犬」「ハガキの詩」「本をテーマにした詩」を披露。

その後は夏の詩。無言館へ行った時に書いたという詩や、「ひぐらしの詩」「子供の時の夏の思い出をテーマに」…と続く。

最後に披露された詩は「例えばそこに石ころがあるだけで」。縁側に座り、石ころに話しかけるスタイルで朗読。思いが伝わってきてジ～ンとして、個人的に一番好きだなぁと思う詩でした。

交流タイムでは、朗読を始めたきっかけ話や「GOKU」という名前のルーツ、プライベートな話など…。なかなか聞けない貴重なお話をたくさんしてくれました。また GOKU さんから見たま～ゆや廿日市の感想をお尋ねしました。「今ある価値観ではなく、もう一つの価値観を見出そうとしている人達なのかな？。貨幣価値でしか人生の価値をはかれなくなっている世の中で、色んな価値観があっていいって気付いている人達じゃないかな？そんな気がします。」とのこと。

あやちゃん

9月の廿日市

9月18日、台風の影響で悪天候になるのでは？と心配していましたが、心地よい風が流れる気持ち良い日になりました。

間近で生演奏の音楽に触れる機会が極端に減ってしまったコロナ禍。今回の『AMANA 平和コンサート』は実に 3 年ぶりの開催。お久しぶり～という嬉しさと、またこういった LIVE ができる！という幸せを噛み締めながら、廿日市がスタートしました。

【出店】

♣波照間島の黒糖、ニホンミツバチの蜂蜜、みつろうクリーム（ますみちゃん）♣ハーブティー（あやちゃん）

【インフォメーション】

★ま～ゆ田んぼの稲刈りのお知らせ。10 月 8 日（ごんべえさん）★10 月のま～ゆ市は 10 日 13 時 30 分～中央公民館です（ヒデさん）★青木村 信州昆虫資料館で、『マリーア・ズィビラ・メーリアン展』を開催中。300 年前に 69 歳で逝った、画家であり博物学者メーリアンの絵画と昆虫標本のコラボ展。※10 月 2 日は、展示品一式を製作された新部公亮氏のギャラリートークが（あやちゃん）★みんなの家の開放デイ 10 月 15 日です！（午前中はトイレの雨水パイプの修繕作業）（あやちゃん）

【AMANA 平和コンサート】

平和をテーマにしたオリジナル曲は、どれも心にしみわたる素晴らしい楽曲ばかり♫。MC の一言一言にも、お二人の温かな想いが伝わってきました。ター坊さんの柔らかいギターの音色と、教子さんの豊かな歌声は、みんなの家を包み込んで、あっと言う間に AMANA ワールドに… 終始、感動しっぱなしの 1 時間でした。

平和について考える時、残虐な暴力行為、戦争、差別、人権問題…あらゆる不誠実に世界中が侵されている今、私達は何をしたら良いのか、何ができるのか…。問題の大きさと難解さに、無力感で打ちひしがれることばかりです…。でも、

♪いにしえ
♪木を植えよう
♪未来への道…などなど

平和への願いを込めた楽曲を歌い、聴いて、その想いを強くみんなで共有してゆくこと。それが

♪大切なこと

と、お二人の演奏を聴いて改めて感じました。

来年の開催時には、ウクライナロシア情勢が穏やかにまとまり、コロナも落ち着いて、みんなでカンパーイと祝杯をあげられるような♪素敵なニュース が流れる世の中になって欲しいと心から思いました

AMANA のお二人に盛大な拍手をお送りしてコンサート、そして廿日市終了となりました。

あやちゃん

コロボックル（西山）
№381 殿下 №388 キョン
オーガニック・フェアトレードの自然食品を
25 年にわたって自宅で扱っています
代金の10％分 ま～ゆが使えます
上田市古里 699-6 P 2台ほど可能
Tel 0268-27-3903

西洋占星術・ヒーリング №267 くらげ(水沢)
● タロット・自然療法・不思議いろいろ
● ま～ゆ会員は2割引。
さらに半額までま～ゆ払い可能です。
● 障害や不具合をお持ちの方の介護や
お手伝いも、ま～ゆで承ります(介護福祉士)
上田市中央東 1－19
連絡先:090-2755-1383

車山登山に参加して

№29 幸子

霧ヶ峰というと八島湿原を歩くことが多く、車山登山は初めてです。

駐車場が混むからと少し早めの集合。まずはおみくじのような紙を引き、ゆっきぃさんの車に乗せてもらいました。ごんべえさんと一緒です。長和町の辺りで「黒曜石は青森でも使われたというけど、どうやって運んだんだろう」とごんべえさん。

ゆっきぃさんは病気をしたことやご家族のことなど話してくれました。

窓全開で気持ちの良い陽気でしたが、駐車場に着いた時には「寒 寒―」でした。

「トイレは有料なので 100 円持って行ってください」とリーダーのきよちゃん。

風が冷たかったので、すぐ歩き始めました。登山道脇にはハナイカリ・マツムシソウなど数種類の花が点在したり群生したりと楽しませてもらいました。

頂上には立派なテラスがあり、ゆったりと腰掛けて昼食です。さすがま～ゆ、色々な漬物果物が回ってきて美味しくいただきました。

雨模様のため「蝶々深山へは行かない」と言っていたけれど、確認を怠り大失敗でした。

車山登山の 3 日後、信毎〝斜面〟の「60 年代霧ヶ峰のビーナスライン建設反対に立ち上がった…」記事を読みました。

1950 年代 長野企業局は、霧ヶ峰の七島八島湿原や旧御射山遺跡の上に有料道路貫通という情報を流しました。その方針に対して、高層湿原の貴重な植物や遺跡を守ろうと諏訪の文化人たちが立ち上がり反対運動を繰り広げました。当初知らされた路線から大幅に迂回する修正案が通り成功したかと思われました。

建設反対に立ち上がった地元有志たちの闘いを描いた『霧の子孫たち』を読んでみました。

長野県企業局長は「自然は万人に開放してやってこそ、初めてその存在価値がある」という考えが根底にあります。その考え方に対して「人間あってこそ自然があるのではなく、自然の中に人間はある」とし、その後の自然保護運動の基になりました。

奥霧ヶ峰の自然と遺跡は守られた。代償として南側大迂回路線の通路にあたる原生林が有料道路の犠牲となる。一つの自然を救うために他の自然を無くすことになりました。建設自体を覆すことはできなかった。

ま～ゆの登山の日、山頂から下る時にすれ違った 70 代くらいのお二人が、「白樺湖から歩いてきました。ここは車で来るより歩いた方が楽しいですよ」と言っていました。

「霧の子孫たち」ぜひ読んでください。

投稿

車の運転免許 更新できました

№328 今井

私の運転免許証の有効期限は今年 10 月 2 日です。

7 月に高齢者免許更新講習に行き認知機能検査と運転技能検査はパスできたが視力検査で免許更新は難しいと診断され眼鏡店へ行き見てもらったらメガネでは視力向上は望めないから眼科医で診てもらうよう言われ,医師の診察で翼状片・白内障・緑内障の手術を勧められ手術を受けました。

1 か月かけて 3 箇所の手術が終わり術後医師に免許更新できるか聞いたらメガネなしでも大丈夫との判断で早速 9 月 20 日に上田警察署に行き更新申請し,眼鏡不要の免許証がもらえることになり嬉しかったです。

70 歳を過ぎ年と共に体力・気力・記憶力・判断力の衰えが目立つようになりました。免許証の有効期限 3 年と我が身の健康寿命が先か心配になるこの頃です。

次の免許更新できるよう日々の健康に注意し,人生悔いの残らぬよう努めたいと思います。

喜三郎さん安らかに…

№2 ごんべえ

8 月 30 日の朝、丹野さんの奥さん緑さんから、喜三郎さんの訃報を受けました。27 日虫が知らせた様に喜三郎さんの様子を伺い お宅へ寄ったばかりでした。

東日本大震災の直後の 5 月、古田さんから「この度被災され、二本松での農業を諦め、移住先を上田に決め、 再出発をする丹野さん家族の引っ越しを手伝って欲しい」との連絡がご縁で喜三郎さん一家 とのお付き合いが始まりました。有機農業では有名な方とは知りませんでした。その実践力は驚きでした。畑を尋ねると裸足ではい回り、まるで髭ずらの熊が動き回っているようでした。

多くの農業の経験で積み上げた知識と知恵を教わりました。

数年前、大粒の米に目を惹かれました。 お仲間が何年も掛けて作り上げたコシヒカリの改良種との事でした。私の興味を察知して、「種をやるよ、名前はごんべえ米にしろよ」 と、大事な種を分けてくれたのでした。以来、秋和ま～ゆ田んぼではこの種と、植物原料 100%のすみじい堆肥で有機味一本植え米作りを続けています。2 年前、食味検査に出したところ 87 点というこの辺りでは最高の評価をもらうまでになりました。

葬儀の前日、ご遺族全員に会う機会があり、喜三郎さんの足跡を偲び供養を兼ねて、「ごんべえ米」を「喜三郎米」に変える了解をもらいました。

これからはこの「喜三郎米」をこの地域の特産品になるよう、ま～ゆ以外にも喜三郎さんの思いを広め伝えて行きたいと思っています。 その内に報告に伺います。その日まで…

丹野喜三郎さんはすごい人

№130 建築よろず屋の ヒデさん

2011 年に福島第一原発事故から逃れ、上田に移住された丹野喜三郎さんの有機農業や原発に関するお話を長野大学の古田先生のコーディネートで数回お聴きしました。喜三郎さんは、1986 年にチェルノブイリ原発事故が起きてから、万が一福島第一原発事故が起きたらどのように行動すべきかを原発のイロハから学ばれ、最終的にすぐに避難することを決めていたそうです。有機農業は土がすべてなので、土壌が放射能で汚染されたら、そこで農業は続けられないからと説明してくれました。これを聴いてすごい人だなと実感したことを昨日のことのように思い出します。

それから、私が一番驚いたのは、畑の手伝いの合間に立ち話をしていたとき、喜三郎さんがしゃがんで太い指で土をつかみ、それを口に含み、「ここの土はいいけど、まだ酸性が強い」などと笑いながら話してくれたときでした。私は小さなときに母親や祖母からから泥んこの手をよく洗うように教えられ、大きくなりました。その結果、土は汚いものという固定観念が私の中に出来上がっていましたが、喜三郎さんはそんな呪縛をいとも簡単に解いてくれました。喜三郎さんが土を口に含んだときの衝撃は脳裏に焼き付いています。よく聞き取れない福島弁で一所懸命に説明してくれた喜三郎さんは、やっぱりすごい人でした。心よりご冥福をお祈り致します。

合掌

喜三郎さんのご逝去に寄せて

№32 アイリスこと古田睦美

あの日、3 月 11 日の震災、それに続く原発事故、何が起こっているのかすぐには全容がわからず数日パソコンに釘付けになっていた人は多いと思います。次第に事態が明らかになってくるにつれ、あまりのことに感情的ではなく画面を見る見開いた目から涙があふれていました。できることは何でもしようといち早く動き出したのは上田の人々でした。ま～ゆの人々が「おたがいさま」の思想ですぐに対応したことも思い出されます。

とくに放射能が降り注いで自然環境を破壊していることによって、自然と調和した正しい暮らしをしてきた人々がより大きな影響を受けているこ

とが悲しく、3 月末に有機農家の方が自殺した報道を見て、すぐに古沢広裕先生に「上田には耕作放棄地も空き家もあります」と個人的なメールを出したところ、それが日本有機農業研究会（日有研）に転送されて、日有研の久保田先生が、上田の農地を見に丹野さんを連れてこられたのが、喜三郎さんとの出会いでした。その後喜三郎さんと行政などに同行し、当時、行政は、「避難」への支援をおこなっているのみで、こちらで「生業」を再開した場合援助が受けられなくなることや、受け入れ用住宅には車庫や農業機械を置く場所もなく、農業者を受け入れる体制が全くないことがわかりました。また、行政の窓口に何度も自費でこなくてはならなかったり、大家さんに会うためには土日に来なくてはならないのに行政の窓口はやっていなかったり、行政だけではなく、市民が動く必要性を痛感し、民間の受け入れ活動がはじまりました。

土づくりは十年の仕事、何年もかかって育ててきた土、自家採取してきた種子、仲間との関係。これまで築き上げてきた農場が日々降り注ぐ放射能によって汚染されてしまい、営農活動ができない、収入のめどもない、住む場所もない、そんな絶望的な状況の中で、いち早く行動を始めた丹野さんのおかげで何が足りないのか、何をすべきなのかが明確になり、上田ではま～ゆから生まれた「NPO 法人食と農のまちづくりネットワーク（食まちネット）」が有機農業者の避難・移住支援活動を開始しました。またその働きかけによって、行政、JA、農業委員会もいち早くワンストップで福島から移住する農業者を受け止める体制をつくっていただき、耕作品目に適合した休耕地やビニールハウスなど迅速に貸借手続きもできるようになり、後続の農家さんの手続きはかなり楽になりました。

丹野さん一家は 5 月には移住をきめました。喜三郎さんが、「休耕地や空き家は全国にあるが、上田には受けとめる人々のネットワークがあるから」と言ってくれたのを覚えています。心ある農業者を支えいのちを生き続けさせるという目的を共有する人々が、同じ思いで生きてきた福島の人と繋がることは地理的距離を越えて必然的だと感じられました。

休耕田は畦が崩れていたり、ほとんど開墾のような作業が必要だったり、かなり手を入れなければなりませんでした。食まちネット周辺では上田に移住してこれから有機農業を始めたい若い人たちが毎年のように来るものの数年で失敗して諦めるのを何回も見てきました。食まちネットでは、丹野さんを有機農業の先生として若者が休耕田を一緒に開けていく「はじめての田んぼ作り連続講座」を行い、丹野さんの受け入れと共に若者が田んぼを開けていく技術を習得する試みを始めました。それは、喜三郎さんの意思でもありました。喜三郎さんには、自分には有機農業を広めるという使命があるという自覚であり、原発事故という絶望的な状況の中、それを神様から与えられた天命を果たす契機として前向きに捉えようとしていた姿勢があったと思います。

休耕田の整備では、土木工事が必要だったり、水が漏れていたり、その度、ごんべえさんをはじめ、ま～ゆの人たちが駆けつけてくれました。長野県有機農研の仲間が余った苗を分けてくれて、移住したての 6 月には田植えをすることができていました。

喜三郎さんを講師とする講座はその後塩田公民館で同じく有機農業を広めようとしていた宮沢正和さんの「緑のオープン講座」をもとに長野大学と連携した「農ある里山暮し講座」となり、現在松井務さんが代表を務める「上田食と農の会」や、「信州上田里山文化推進協会のアグロフォレストリープロジェクト」へと受け継がれていきます。喜三郎さんがまさに天命を果たし、彼の圧倒的なエネルギーがこの上田に有機農業の灯火として受け継がれたと思います。

受け入れ活動については、最初の 1 年半で 140 回あまり福島の方を受け止め、上田や青木の休耕地や空き家を案内してまわりました。喜三郎さんは福島の仲間のことも心配して、上田を見に来るようにすすめ、何名か知り合いの方も来られました。福島から来る方は、こちらに来たら先に移住した丹野さん一家の話を聞きたい方がほとんどでした。そこで、受け入れプロジェクトでは、離れのある築 130 年の民家を借りて、そこを拠点に丹野さんの息子さんとも協力して受け入れ活動を行いました。

しかし、その後福島から移住してきた農家は 4 軒のみでした。来た方はそれぞれすごい方でした。気候も違う新天地で 0 から農業を立て直すことは並大抵のことではない。移住しても福島でのローンを抱えたまま、新しい負担を負うことなど普通の農業者にとってはとてもできることではないということを思い知らされました。喜三郎さんは新

しい気候や土に合わせて農業を立て直すことができる観察力と好奇心、技術をもち、絶対の自信とエネルギーに満ちた人でした。循環的な農法のこと、自家採取のこと、タネのこと、菌や野草酵素や堆肥のこと、田んぼ、観察力の大切さ、黒澤天然農法、山との循環のこと、それから、ガマズミのジュースや松葉サイダーのこと、いただいた知識は計り知れません。あとで喜三郎さんは日本有機農業界でも 5 本の指に入るくらい研究熱心で著名な農業者だったことを知りました。上田の資源を生かしきれていない私たちの、知りたいことに対して、それぞれ超一級の人を紹介してくれました。蚕都上田の桑について聞くと日本最古の医学書で国宝の『医心方』の翻訳者槇先生、種まき時期について聞くと、バイオダイナミクス農法の宇宙レベルの暦を日本で作成しているぽっこわぱ耕文舎のドニーさんなど喜三郎さんと交友関係のある一流の方々は枚挙にいとまがなく、講師におよびして塩田公民館の講座を開催することができ、上田のわたしたちはたくさんの知恵と恩恵を受けとりました。

もう一つ重要なことは、丹野農園の営みに、私たちが目指した CSA(農業を地域が支える仕組み)の真髄を見たことでした。CSA は、ま～ゆ立ち上げの発端となった「エンデの遺言」の映像の中にすでに登場していて、イサカアワーズという通貨は地域の有機農業を支えていました。丹野さんが上田に来ると間も無く、丹野さんの野菜を何十年も買っている消費者や、丹野さんに教えてもらいながら有機野菜を売るために起業した消費グループなどたくさんのファンが上田を訪れました。そして、「うちのこどもはアレルギーがあり丹野さんの野菜を食べて元気に生き続けられた」、「うちの子はアスリートで丹野さんの野菜のおかげで立派な成績を収められた」「だから今度は丹野さんを助ける番だ、どこに移住しても丹野さんの野菜を買うからね」と口々に語るのでした。丹野さんが移住してもなお農業を続けられる理由は、市場をとおして匿名で売られていく”商品”としてではなく、あのうちのこどもさんのために、あのアスリートさんのために、そして丹野さんの野菜で健康に暮らす一人ひとりのあの人のために、丹野さんが農産物を、いのちをつなぐ”食べ物”として作っているからだと改めてわかりました。作り手と食べる人との信頼関係こそ、産消提携が地域の中で存続し続けるように農業を支える CSA の中心原理なのです。

丹野さんが上田に来てから、産消提携をフランスに広めた雨宮先生や、消費者との信頼関係の中で有機の基準を作る新たな有機農業認証のあり方を研究する久保田先生、日本で唯一の有機農業の愛農高校や愛農会の方、日本エゴマの会の代表など多くの方が上田を訪れ、勉強になるお話を聞くことができました。フランス財団からは丹野さんを目がけて、移住してくる有機農家のために集めた助成金をいただき、丹野さんやその後に来る方のために、ゲルマ放射能測定器も買って、土壌や、有機投入物、農産物を測定することができました。上田在住の逸材合原亮一さんの協力で、丹野さんの建築士の息子さんたちと測定室も作り、助成金で丹野さんやその後に移住した有機農家の農産物を買い上げて、福島のこどもたちに届けるプロジェクトも行うことができました。そこから「上田市民放射能測定室」が誕生し活動が続いています。

数年後フランスから助成金の効果を調べに財団の方が訪れ「移住してよかったですか」と質問をしました。移住したある農家さんは「移住したくてした人はいない」と涙ぐんでしまいました。移住した方達は、あの日を境に人生が一変してしまい、福島の農場や営業停止になっている作業場などの裁判や、残してきた親族や介護やお墓の問題などまだまだ問題をかかえたままなのです。福島からの受け入れには、やれることは尽くしても成果も失敗もなく、寄り添うことしかできないと痛感しました。しかし、丹野喜三郎さんは、インタビューに答えて「福島に残っていたら地獄、出てきたら天国だったよ」と明るく笑ってくれました。ま～ゆをはじめ、上田の人々とのつながりを楽しんでもらえたのだと思います。笑ったり、激昂したり、怒鳴ったり、感情を隠さずあらわにするエネルギッシュな人でした。もう、地上の困難のない平穏な世界へと旅立たれ、天国へと召されてしまいましたが、民間の力で福島からの受け入れ活動を作ってきた上田の市民力、人々の温かいつながり、そして、喜三郎さんが灯した里山農業の灯火は綿々と受け継がれていくと思います。天命を果たされた喜三郎さんに心からの御礼を申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

2022 年 9 月 2 日

ま～ゆ会員に聞きました

あなたの ”小さな幸せ„ を聞かせてください

私の小さな幸せ　　№55ミーすけ

家の周りに土が少ないので、植木鉢にシンビジュウムを育てています。買ったものではなく、商売をしている頃、お得意さんの奥様から5鉢頂きました。

夏の水やりはしっかりしてきましたが、後はほったらかし、鉢がいっぱいになると植え替えて、今では 40 鉢を超えます。

11月の終わりになると、冬の寒さに弱いので家の中に入れます。一鉢一鉢覗き込みながら草を取り除きます。その時花芽を見つけます。まだ小指の先のようなものですが、分かります。もっと小さくてちょこんと膨らんでいるのも分かります。

年を追うごとに花芽がたくさんつくようになりました。去年は25鉢も咲いてくれました。

花芽をつけてくれてありがとうと、幸せな気持ちになります。今年はどうかな？

幸せを守る防波堤　　№45ばくちゃん

9 月のま～ゆ市のトークは「平和」でした。

その中に、今の「日々の幸せ」がたくさん語られました。

3 食食べられて、清潔なお布団で眠ることができて、寒さ暑さをしのげる家があって、等々……

でも、77 年前の日本には、それが出来ない人がたくさんいて、今の地球上には、それが出来ない人々がたくさんいる。

77 年前に戻りたくない。世界の人々に幸せを…と思います。

押し寄せてくる「幸せを奪う波」から、守ってくれる防波堤は何だろう。

一つは憲法九条でしょう。

でも、それだけじゃない。医療も、介護も、表現の自由も…もっともっと色々な分野がある。

ま～ゆは、それを学べる場所、それに気づける場所だと思います。

小さな幸せと大きな喜び　　№441 そだっち

今年やっている地元の公民館主事（公民館長）の最大イベントである敬老会の事です。

長引くコロナ禍の中、今年こそはと開催を楽しみになさっていた方々もいらっしゃいましたが、お年寄りの方々の健康と安全を第一に考え、やむなく中止の決断をしました。

代わりにお祝いとして生花と地元のタチアカネ蕎麦の実入りの稲荷寿司、紅白お餅をお届けする事にしました。

楽しみにしていた皆さんに申し訳ないな…との気持ちで各お宅をお届けして回りましたが、花屋さんに頑張って用意して頂いた『リーガース・ベゴニア』『アンスリウム』のお花を見ると予想以上に皆さんに喜んで頂き、稲荷寿司と紅白お餅も地元のお店で用意したので、大変好評でした。

あるおばあさんには、「こんな立派なお花いただけるなんて、長生きしてて本当に良かった。ありがとうね、亡くなったお父さんの仏壇に供えさせて頂くわ」と嬉しいお言葉を頂きました。

何度もお店の方々と打ち合わせをしたり、なかなか骨が折れる仕事でしたが、皆さんの喜ぶ姿を目の当たりして「やって良かったなぁ」と嬉しく思いました。

人の役に立てること、喜んでもらえることをするのが、『小さな幸せ』を感じるんだと実感しました。

両親を見送ってから、もう自分に果たすべき役割なんかないし、長生きする人生など罰ゲームみたいなものだと思っていましたが、皆さんの喜ぶ姿を見るとちょっと長生きしてみたいなと思いました。

小さな幸せ

№ 147 かっとまん

「小さな幸せ」心温まる前向きな言葉だが、改めて考えると「この程度でいいや」、「これ以上無理だ」と言う諦めの気持ちを感じることがあります。理屈はさておき、仕事中では、特に若い頃は褒められることもなく、自己満足が「小さな幸せ」かな。これは「この程度でいいや」に近い感じです。目標を自分では低めに、上司の方は高めに設定するので当然の結果とも言える。

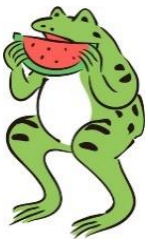
管理職になると、全く違う。前任者から引き継ぐ仕事は大体「問題案件」です。旨く行きそうなら当人が頑張って結論を出し、後任者に成果を残すようなことはしない。「問題案件」の解決には概ね損失が伴うので、結論を先延ばし、後任者に責任を押しつけ逃げる。これが世間というもの。

ところが、どこの世界にも変わり者、物好きがいるもので、火中のクリを拾うものがいます。問題案件を整理出来ると実に気持ちが良い。もちろん損失をかぶるので上司からは文句言われるが、他の利益でカバーしてやると元気が出てくる。これが現役時代の自己満足、「小さな幸せ」だった、いや、「大きな幸せ」だったかも知れない。今でも同じように誇りに思っている昔の同僚が結構います。コロナ騒ぎで彼らとガヤガヤする機会が無くなったのがちょっと寂しいこの頃です。

№436 けんちゃん

小さい幸せ！というか、小さい性格を見せるようでイヤなんですが…笑

私は、「終わりよければ全てよし！」という性格からか、食事も最後に美味しく終わらないと気が済まないんです。だから、その食べ物の一番美味しい部分を最初によけておいて、そこを最後に食べる！というのをやっています。



♣例えばスイカ！

皮に近づくにつれ、甘味がなくなっていくでしょ？だから最初に中心部分をとっておいて、最後に食べます。

♣例えばフライドチキン！

最後に骨の間の小さな肉をちまちま食べて終わりみたいになる。だから、最初に美味しい部分をよけておいて、最後に食べます！

最後に小さな幸せがあるんです！

よい子はマネしないでね笑

№43 やよい（泉やよい）

若い頃は病気もなく体力もあり、お肌のコンディションも良かったなぁなんて思うこともあります。最近は、もっと勉強しておけば良かった、なんて思うことも。

でも昔に戻りたいと思ったことが一度もなくて、常にいまが一番幸せだなぁと思えるのが、ほんとうに幸せなことだと思います。そして庭先の畑から野菜をとって食事をつくる幸せとか、家族がご飯を美味しいと食べているのを見るとき、家族の団欒など、私にとっては家族との時間がモチベーションでもあり、日々の暮らしの中で、ささやかな時間がとても幸せだと感じます。

だからこそ、そこにある当たり前の暮らしが皆にあるよう、市政も県政も国政も勉強しながら、しっかりと考えていきたいと思っています。

138 号はのテーマは

〝コロナ禍で変わったこと〟 です

この3年間、私たちはコロナウィルスという見えない敵によって経験したことのない脅威に否応なく暮らし向きを変えさせられてきました。

あなたはどのような変化がありましたか？それを聞かせてください。

俺もそうだ

№50 都々平

思わず膝を叩いてしまいましたよ、けんちゃん。スイカの食べ方が同じ。「同類がいた!!」と知ったときの幸せ感は まさに私の小さな幸せです。

幾年か前の餅つき大会で、お昼のお楽しみ“餅のフルコース〟には、ごま・あんこ等の餅と大福が…。3つ4つ食べたころ、つとつかと寄ってきて「それ嫌いだったら譲ってください」と云った人がありました。でも丁重にお断りしました。お宝の大福餅です。「一番おいしいものは残しておくのが私の流儀です」と言い訳して…。

№137 にゃんこ先生

小さいというよりは大きな幸せかもしれませんが、普通にすたすたと歩けることの幸せを痛感しています。

今年2月から6月、足の裏が痛かったり、足全体がこわばったりで、普通に歩けなくなりました。

以前は毎日1万歩、歩くのが大好きだったのがうそみたいに、よちよちと歩く日々でした。

階段も、特に降りる時は、横を向いて一段ずつ降りねばなりません。

幸い、暖かくなってからは調子がよく、前を向いて降りられるようになりました。幸せ感じています！

これからまた寒くなってきたらどうなるかちょっと不安です。

小さな幸せ

№71 トットちゃん

生きているだけで儲けの毎日だ。時間はたっぷりある。

畑で採れた野菜をあれこれ考え調理し、2人で食べる食事は楽しい。春植えた里芋は芽がなかなか出なく、諦めていたのに今では見事に育っている。安心安全の野菜は子供たちにもたくさん届けてやれる。

やっと野菜の収量も少なくなりほっとしている。時々頼まれる孫の子守りも生きていればこそだ。

また皆で登った霧ヶ峰車山の空気のうまいこと。霧にまかれた登山道にはマツムシソウを始め、ノハラアザミ・アキノキリンソウ・ウメバチソウ・青紫のトリカブト・アサマフウロ・ワレモコウと沢山の植物に会えた。

リーダーのきよちゃんの熱意で蝶々深山の山頂にも立てた。

忙しく夢中で働いていた時には気づかなかった日々の小さな幸せを、意識し感謝しつつ、もう少し皆と一緒に楽しみたいものだ。

小さな幸せを思い出しました

№45ばくちゃん

某講座で脳トレに参加した。

4 人グループに市役所からの道と上田駅からの道のスクランブル交差点の白地図がくばられた。この周辺に何がありますかと指示があり、セブンイレブンや八十二銀行、化粧品店甲州屋や若松屋、マンションなどを書き込む。

次に、以前には何がありましたかと指示が出た。ここから、グループ内の会話が盛り上がった。

「セブンイレブンの前は泉萬一富士というお菓子屋さんだった。」

「もっと前は郵便局だったよね。」

「隣はうさぎやで、2 階にフルーツパーラーがあって・・・・」

＊一気に小学生の時のことを思い出した。田植えをよく手伝ったご褒美にと“うさぎや二階のフルーツパーラー„へ両親に連れて行ってもらった情景が浮かんできた。いつもはモンペ姿の母が珍しくスカートをはき、カーディガンを着ていた姿まで目に見えるように浮かんできた。

「ここは、ほていやで、初めての高層デパートで、屋上に・・・・」

＊あの遊園地で初めて小さな自動車に乗り自分で運転し・・・・・ゴーカートと言うのかな・・・自動車の赤色と笑っている母の顔が浮かんでくる。思わず涙ぐんでしまう。

「恵比寿講には、ここへ来てさあ・・・・・・」

・・・・・・

脳トレで、色々思い出した。

思い出の中に「小さな幸せ」が、いっぱい！いっぱい！ありました！

孫との温泉　　№421 トムさ

先日、宿願だった孫と一緒に温泉に入った。温泉は、祖母（ばあば）と入るのが当たり前。別所に移住して生まれた孫は２歳10ヶ月。孫と、温泉に通うようになった切っ掛けは、孫の喘息。義父と長男に喘息があり呼吸器系が弱い血筋、医者ぎらいの私は温泉通いを決めた。温泉に通う様になって暫く「祖父と入る」と言うので男風呂へ。ところがこの日に限ってうんちをお漏らし。トイレで何とか処理したが、緊張感は隠せない。不安になった孫は、女湯に行くと動き始めスッポンポンの孫の引っ越しはドタバタ劇そのもの。後は想像にお任せしますが…

ウンチのお漏らしと女風呂への引っ越しは、孫にとってもトラウマになったか誘いに乗らない。

１ 年経ったこの日幼稚園から帰ったが孫が「爺と入る」と言い出し何事も無く男湯へ。

叶ってしまえば呆気ない孫との温泉。

孫の成長を実感した小さな幸せの一時でした。

わたしの幸せ　　№417 月

自宅が別所なので、家に居る時には、夜歩いて 温泉に行きます。今年から、お湯に行く時間を１時間 早めにしました。そしたら、最近 高級旅館の脇道を往復する度、「松茸を焼く香り」が 漂って来るんです。丁度、旅館の食事時、メインの松茸を 焼く時間帯に当るらしく～こんなに毎回 …滅多に口に入らない 松茸の香りに包まれて～ 幸せです ♡

№76　ぶんちゃん

私の妹は、須坂市に住んでいます。娘が3人いて次女が家を継いでくれました。

次女は助産師をしていて、子供が3人います。当然孫育ては、妹の仕事です。

夜勤もある娘の代わりに、孫育て、畑、その他、食事の支度など諸々73才の妹の仕事になります。昔庄屋だったという広い敷地を活用し、今年オープンガーデンを始めました。滝も有り、山野草から、多種多様な花をそだてています。苔むした場所には壷を置いたりして工夫しています。枕木を使ったりして、シーズン楽しめる花を育てています。昔からある木の剪定は、毎年30万円ほどかかるそうです。又来た人には、茶室前でお茶を入れています。

頑張り屋の妹に私は、時々花苗を持って行き、花の話、昔話をして、ガーデンを見ることが小さな幸せです。ま～ゆの方で花や、庭に興味がある方は、是非行って見てください。

投稿

身にしむ色　　147 かっとまん

新聞で「身にしむ色」とはどんな色でしょうかと書かれたエッセイに目が止まりました。

新古今和歌集の藤原定家の

しろたへの袖の別れに露落ちて身にしむ色の秋風ぞふく

「身にしむ色（身にしみる色）」は、どんな色彩事典にも載ってない摩訶不思議な色ですが、なんとなく、うっすらと、わからないようでわかるような、しみじみとした色を感じる。「身にしむ色の春風」では何も感じ取れない。和歌の意味、状況を理解することでこんな表現、新語が生き生きとする。秀歌か駄作かの違いもこの辺に有るのかな、などと考えるのも歳のせいですかね。

蕎麦処 いちや　№312 牧野隆彦

● お食事代の 5%をまーゆでお使いください

● 環境やお財布にもローインパクトな蕎麦屋を目指しています平日は予約制となっています

※前日までにご予約頂いたお客様には一品サービスします

上田市住吉1160 TEL25-1841／携帯080-5140-6689

80歳バンザイ

八十路を超えられた方に思いの丈を伺おうとの新企画です。よろしく。

ま～ゆに入ってたくさんの活動に参加してきた“たまちゃん„（会員番号 119）は早80歳を超えた。

今何を考え、どう暮らしているのか、興味が尽きない。

そこでインタビューしてお聞きしてみた。

いや、いや、いやのたまちゃん。

何でも頼むとこの調子です。御年85歳。ま～ゆの会合に参加することも少なく、いや殆どなくなりましたが秋和菜園では頑張っています。

家で元気に過ごしています。

ノラ猫が 3 匹たまちゃんの家の軒下に遊びに来ます。リンゴ箱に暖かい敷物を敷いてもらって来る猫をよく観察しています。住み着いてはいませんが、夏は暑さよけに、冬は暖かさを求めて、優しい目で温かく見守っています。

あんなに登った太郎山ですが

4，5 年前からやめて天白山に登っていましたが、それもやめて、県立野球場のあたりを散歩しています。行き交う人との会話を楽しんでいます。たまちゃんの機知にとんだ受け答えにどこでも笑いを振りまいているようです。

地域のお達者クラブの集まりにも出かけています。まだ新人だから「言いたいことは控えているよ」だって。ほんとかな。

免許は来年書き替えになりますが、運転をやめると決めています。

そうすると秋和菜園もできなくなります。秋和菜園ができた時からずっと耕作していたたまちゃん。菜園の仲間は畑でのやり取りをとっても楽しんでいました。

出来た玉ねぎなど気前よく2つ、3 つと分けてくれます。欲をかかないたまちゃんの姿勢はとても見事です。

前に乗っていた車は時々トラブルを起こして、止まってしまうことがありました。遠くにいる息子に電話で話すと「動いて事故を起こすよりいいじゃないか」だって、さすがたまちゃんの息子です。「おらあ、おかしくって、おかしくって」と笑って話してくれました。

でも新車を買いました。え、え、え？です。今が都合悪ければだめだからとのこと。

潔いです。

時々「牡丹の花が咲いた」、「ギボウシがきれい」と電話が来ます。私はいそいそと出かけていきます。他にもぶんちゃん、きよちゃん、Fuji さんら。庭の木を切り込んでもらいたいときはごんべえさん。

たまちゃんとの付き合いを楽しんでいきたいと思っています。

ミーすけ記

たまちゃんから今の心境を書き綴ってもらいました。

今から 70 数年前のこと、終戦の日のことは忘れられない。 8 月 15 日近所の大きい家に皆が集まってきた。

座敷に正座してラジオを聞いた。戦争の終わりの天皇のお言葉だったそうだ。

若者はいない、年取ったおじさんたちはボツボツとうつむき加減で帰っていく。その当時ラジオはほとんどの家になかった。

聞いた話は雑音で何の話かわからない。負けたと言いながら歩くおじさんたちの後を行く。戦争が終わった、それからは無いないづくしの日常が続く。

今戦争をしている国があって、どんな気持ちで生きているのか気の毒でしょうがない。特に子供の心がすさんでいると思うと可哀そうで早く終わるのを願っている。

今現在、一日一日大切に我儘で生かせてもらっている。

八十の坂を中途まで登りて、感謝かんしゃ。

都市・建築工房 No.130ヒデさん(竹内秀夫)

●トラブルの多いリフォームだからこそ
お任せください
● 家のことなら何でもお気軽にご相談ください
● 消費税分「ま～ゆ」が使えます

上田市御所274
TEL28-7532 fax 28-8190

街の気軽なマルチメディアショップ
㈲ 伸和印刷 No.57 中澤

●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使いください
●今、流行りの自分史を作ってみませんか?
●会議資料作りに便利な、製本機能付き
高速デジタルコピー機導入しました

上田市国分1-7-12
TEL22-7710 Fax22-7718

落語　ワクチン副反応

No. 395　いっちゃ

八ッあん　先生こんちわ
先生　おう、八ツあん。何か心配事でも
八　先だって、うちの若えもんが心筋症で入院した
先生　ホウ、それは心配だな、何か心当たりは？
八　思い当たることがなくて困っている。ヤツは仕事熱心でとびきり元気で腕もいい。また素直で御上の言うことによく従う
先生　それがどうして？
八　何かあるとすれば、前の日、三回目のワクチンを打ったことぐらいだ。
先生　そのせいかもしれん
八　そんなはずはねえ、だって厚生労働省も、テレビに出る大学の先生もワクチンを打つことを勧めている
先生　確かにそうだ
八　大臣も、何かあれば私が責任を持つと言っている。
先生　でも、最近、ワクチンの副反応ということで色々な身体の不調を訴える人がいる
八　厚生労働省はそれをワクチンが原因だとは認めていない。先生耄碌して陰謀論に騙されているンじゃあねエか？
先生　そうかもしれないが、そのことで、お医者さんの間でも意見が分かれている
八　どんな違いで？
先生　ワクチンを推進する医師の説に対して、一つは、今のワクチンはコロナウイルスには効かないという説と、もう一つは、副反応があると言う説だ
八　何か証拠があるンで
先生　最近の秋田県の調査発表では、例えば四十代の人で、ワクチンを打ってない人で陽性になった人は十万人当たり591人で、3回打った人は791人だった。ワクチンを打っても、打たなくても同じだ
八　そんなことがあるのか。偽情報ではないか
先生　そうかもしれない。しかし、東北や北海道では有志医師の会という団体が、ワクチン接種を慎重にするようにという声明を出した。
八　それはどういう訳です？
先生　なんでもワクチンを打った後で、心筋症になったり、歩けなくなったりする人が大勢出たらしい。また11歳の子供がワクチン接種の後急死したりした
八　それが本当だとすると大変なことだ
先生　しかし厚生労働省はワクチンが原因だとは認めていない。
八　確かにそれを証明するのは難しいのだろう
先生　それで、最近、コロナワクチン被害者遺族会が結成されて緊急記者会した
八　そこまでやるとすると、無視できない。どっちが正しいンで？
先生　わしにもわからん
八　なんだ、本ばかり読んでいてその位のことがわからないのか。それではどうしたらいいンだろう
先生　そういう時は基本に戻るのがいい
八　というと
先生　ウイルスの専門家によれば、ワクチンは、ウイルスに感染した時、人が本来持っている獲得免疫の状態を人為的に作るものだからなのだ
八　そうか、人間はワクチンを打たなくてもウイルスに対する免疫を本来持っているのだナ

投稿

鱗雲に夕焼け

塩尻の畑で、落花生を洗い終わって振り返ったら、西の空が…
夕焼けショーは５分くらいで終わってしまいました。
こんな自然の姿に感動です。今日働いたご褒美かな？

№75 Fuji

ま～ゆ文芸堂

俳句

八月の句
原爆忌入道雲を眺め侘ぶ

九月の句
十五夜無限の彼方に思ひ馳せ

No.130 ヒデさん

投稿

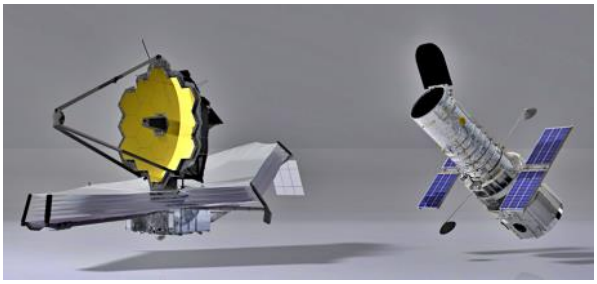
たまには宇宙のこと

№130 建築よろず屋の**ヒデさん**

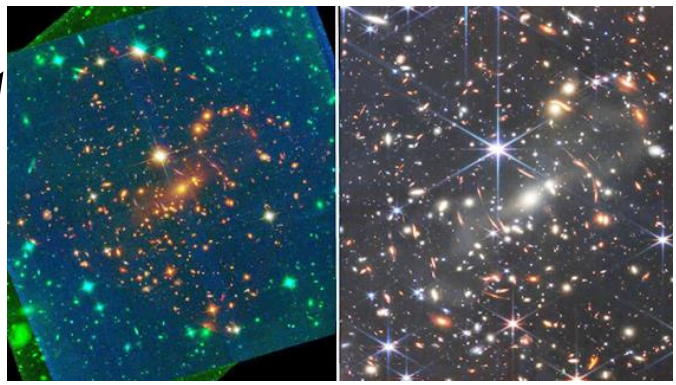
地球は太陽の周りを１年かけて周っています。そのスピードは約 10 万 km/h。太陽は天の川銀河を約 2 億年かけて回っています。そのスピードが約 80 万 km/h。つまり、地球は太陽を中心とする同一面を回っているのではなく、太陽に引っ張られながら、らせん状に移動しており、とりまく環境は常に変化しています。

そして、隣のアンドロメダ銀河が約 40 万 km/h のスピードで天の川銀河に接近しており、約 40 億年後には二つの銀河は衝突し、一つの銀河になると予想されています。そのとき太陽や地球は存続できるのでしょうか？　結果については諸説あるようなので、各自で調べてみてください。

地球から約 600km という軌道上を飛行しているハッブル宇宙望遠鏡の後継機としてNASAが25年の歳月と 100 億ドルをかけて開発したジェイムズ･ウェッブ宇宙望遠鏡が、地球から見て太陽と反対側の150万kmの軌道に乗り、2022年７月に運用を開始しました。その性能はハッブル宇宙望遠鏡の 100 倍だそうで、今まで銀河は約 2,000 億と考えられていましたが、どうもその 10 倍の 2 兆ぐらいあるようです。これから宇宙の色々なことが解明されるのでしょう。



ハッブル宇宙望遠鏡の画像（左）と
ジェイムズ･ウェッブ宇宙望遠鏡の画像（右）
ほぼ同じ領域



ジェイムズ･ウェッブ宇宙望遠鏡（左）と
ハッブル宇宙望遠鏡（右）

動物たちの声になりたい　その 47

No.136　にゃんこ先生

ま～ゆ会員の中には、家庭菜園をやってらっしゃる方が多いですね。種や苗から育てた野菜は格別の味。お子さんやお孫さんと一緒に、芋掘りや稲刈りなどをされる方もいることと思います。お互いにとってかけがえのない時間、いい思い出になるでしょう。

では、肉を作る過程をお子さんやお孫さんと一緒に楽しみたいですか？　畜産工場を見学しに連れていきたいですか？　足の踏み場もないほどぎっしり詰め込まれて、生後50日で殺されるブロイラーの鶏舎を見てからフライドチキンを食べに行かないのはなぜですか？　屠畜場で殺されたばかりの牛の超新鮮なお肉を欲しがらないのはなぜですか？

そもそも、牛は食糧ですか？　豚は食糧ですか？　犬は食糧ですか？　猫はどうですか？

人間はどうですか？

かなたの星からやってきた宇宙人たちが、地球の人々を見て、これで彼らの星での食糧不足を解決できると大喜び、地球人を宇宙船がふくらむほどにぎっしり詰め込んで宙に向かって飛び立った時、人は因果応報という言葉の意味を真に知るでしょうね。

MEAT　IS　MURDER

いうまでもありません。肉は暴力、殺しの結果です。

殺しの現場では、逆さづりにされた牛や豚の胴から、内臓がどさっと床に落ちて飛び散ります。血の沼ができ、強烈な臭いが充満しています。見たことがなくても、容易に想像できますね。なのに、その残虐な作業を他の人にしてもらう。そして、きれいにパックされてスーパーに並んでいるお肉を買ってきて、家族団らんしながら食べる。このことを、どういう倫理のもとに、ご自身に許していらっしゃるのか、皆さんひとりひとりにお訊きしたいです。

何もしない言い訳では？

戦争とか差別とか貧困とか、そういう社会問題が話題になった時によくきかれる言葉に、「なかなか複雑な問題だから、解決が難しいね。」というのがあります。

私にはこの言葉は、解決のために自分にできる一歩を踏み出さない言い訳に聞こえます。

複雑に見えるのは、単に人の欲が交錯しているからではないですか。しかも時として長い年月をかけながら。

問題解決への第 1 歩は、何よりもまず、ひとりひとりが私欲を捨てることだと思います。他者に欲を捨てなさいと説く前に、まず己が欲を捨てて見せることです。

たとえば、肉食について意見を求められたらなんて言いますか？「うーん。むずかしい問題だ。酪農や食肉業で生計を立てている人も大勢いることだし…」と言い出す人もいるかもしれませんね。なんとかして肉食をやめずに済む口実を必死でさがしているように見えますよ。

戦争はどうですか？　兵器の製造販売で生計を立てている人たちがいるから戦争をなくすわけにはいかない、なんてまさか言いませんよね？

畜産工場主や屠畜業者たちも、武器商人たちも、今の仕事のかわりに、（可能な限り）誰も傷つけない仕事をして生きてゆくことができないはずはありません。それは家族にも誇れる仕事でしょう。

もうたくさん！

『もうじきたべられるぼく』（はせがわゆうじ著　中央公論新社）という本の広告を新聞で見ました。TikTok で話題になったアニメ動画の絵本版らしいです。殺されて肉になる前に、ひと目お母さん牛に会いたいと旅をする子牛の話です。

生まれてすぐに母牛から引き離される子牛が、母牛のいる牧場を覚えていたんですか。雄の子牛は（肉を白く保つために）貧血状態にさせられていますから、旅はつらいでしょうね。と突っ込みどころは多々あるのですが（牧場でのびのび暮らしている牛は全体の数パーセント。母と子が一緒に暮らせる牧場はほぼ皆無でしょう。）

結局、お肉は感謝して食べましょうって言いたいんですか！？

もうたくさん！！！！　この世の中に生きていることが久々にイヤになりました。

皆様からの質問、意見、反論を、いつも心よりお待ちしております。

21 周年 ま～ゆ総会 11 月 13 日(日)

会場　市民プラザ・ゆう

今年も新型コロナウィルスの影響で、飲食は困難ですが、 3密を避け感染予防を怠りなくした上で、大いに歓談し楽しみましょう※ 詳細は会報に同封したチラシをごらんください。

レクリエーションチーム企画

第 12 回 旧北国街道まち歩き 11 月 3 日（祝）　小雨決行

ヒデさんと長野駅から北長野駅まで約 5 kmの旧北国街道を歩きます。
簡単な資料は用意しますが、道順、歴史など皆さんと意見交換しながら歩きましょう。
今回は善光寺や城山公園でゆっくり過ごしましょう。

1. 集合:10:00 長野駅　2F 自由通路、在来線中央改札口集合
　（参考）小諸発普通　上田発 9:01、長野着 9:44 が便利です。
2. 解散:14:10 ごろ　北長野駅前

（参考）帰りは

北長野	長野着/発	上田着
14:26	14:32/14:36	15:20
14:45	14:51/15:12	15:58（戸倉で乗換）
15:31	15:36/15:41	16:24

3. 持ち物:　マスク　お弁当　飲み物　雨具など必要と思われるもの
4. 参加費:　300 円（保険代を含む）

当日の緊急連絡:　ちゃーこ　090-2454-3080

申込期限　11 月 1 日（火）
申込:ちゃーこ（河野）
m-kohno0620@key.ocn.ne.jp
電話　36-4722（留守電に）
メールまたは留守電に氏名（本名で）
電話番号、年齢を連絡下さい。

12 月のま～ゆ市

10 日（土）夜 7 時から
会場は **中央公民館**

歯ブラシをください №204 かっこう（古川）
●ホテルや旅館でサービスの
歯ブラシ・石鹸・タオルをください
●1点につき 1ま～ゆお払いします
上田市十人　74-17
080-3417-3234
ka3716jp@gmail.com

編集を（やっとこ）終って
今号は原稿を早めに寄せていただいたので、編集は順調に推移していました。にも拘らず 10 月中旬体調を崩して廿日市に発行できなくなり、申し訳ありません。
齢八十で心身共に弱い自分に向き合う日々です。奇しくも新企画“80歳バンザイ„が始まったばかり、「さーて、これからどうしましょう？」の都々平です。

ベーグル屋 ハル　春野仁宣
●県産小麦と天然酵母の
ベーグル＆ヴィーガンブレッドの店
●1 回のお買い物（500 円以上）で
50 ま～ゆお使いになれます
上田市中央 2 丁目 11-19
Tel & Fax: 0268-75-0777
chatte-sato@mvb.biglobe.ne.jp
http://www.fsf-haru.com

会報に携わった人

- 編集長　前田光俊
- 記事　小林綾子
- イラスト　竹内紀子（カット）
　市村俊篤（よしとく）・市村啓峰（たかみね）（表紙）
- 写真　前田光俊・竹内秀夫
- 校正　前田光俊・竹内紀子・前田美枝子・曽田充

代 表　竹内秀夫
ま～ゆ 連絡先　前田光俊
〒386-0041 上田市 秋和 503-6
TEL 0268- 27-1230
ホームページhttp://mayu.lolipop.jp/santo/
蚕都くらぶ・ま～ゆで検索